KP30K/40K/55K　停電時の使い方（自立運転モードの使い方）

安全上のご注意

●安全に使用していただくための表示と意味について

この取扱説明書では、パワーコンディショナを安全に使用していただくために、注意事項を次のような表示と記号で示しています。
ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。必ずお守りください。
表示と記号は次のとおりです。

⚠ 警告	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至る恐れがあります。

●図記号の説明

❗	●一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示

⚠ 警告

停電用コンセントから供給する電圧は、太陽の光が弱くなると必ず低下します。
接続に際しては突然停止しても安全性に問題がない機器であることを確認してください。
次の機器を停電用コンセントに接続しないでください。
・すべての医療機器、灯油やガスを用いる冷暖房機器
・パソコン、ワープロなどの情報機器
・その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器
停電用コンセントの電圧出力が停止し、人身傷害や接続した機器に機能障害が稀に起こる恐れがあります。

自立運転する前に必ず太陽光発電ブレーカーを OFF してください。
万が一の場合、感電による障害や火災が起こる恐れがあります。

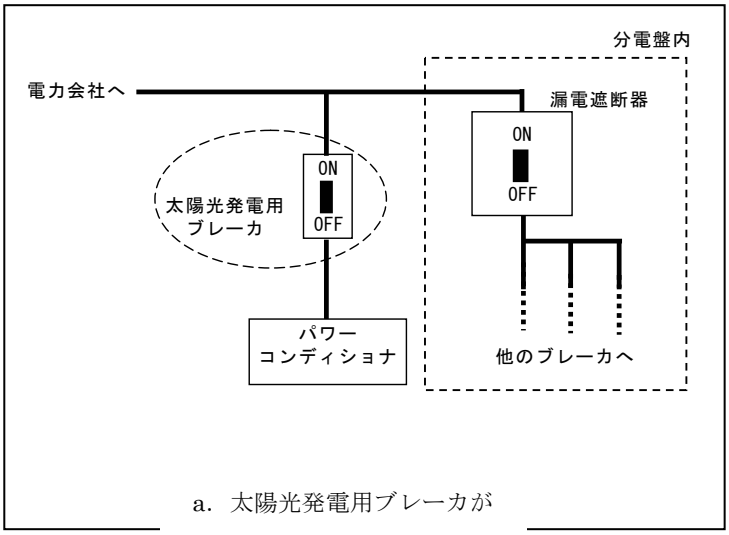
使用上の注意

（1） 夕方、夜間、早朝などの太陽電池が発電していないときは、自立運転モードで運転できません。
（2） 停電中でパワーコンディショナ発電を行う場合は、パワーコンディショナの停電用コンセント（以下、自立コンセント)に使用目的の電気製品のプラグをつなぎかえてください。
（3） パワーコンディショナの自立コンセントに接続できる容量は天候によって変化します。
停止する場合は、自立コンセントに接続した電気製品を減らしてください。
（最大 1.5kVA：AC100V，15A 未満）
（4） モータ内蔵機器(掃除機、冷蔵庫等)を接続すると、急激な電流が流れるため、保護機能が働きパワーコンディショナが停止することがあります。
（5） 太陽が昇っている間でしか発電しませんので、停電が復旧した場合は、電気製品のプラグをパワーコンディショナ自立コンセントから家庭用コンセントにつなぎかえて、手順に沿って自立運転モードから連系運転モードに切り替えてください。
特に電気冷蔵庫などの使用は、長時間放置されると中の食品に問題が出る可能性があるのでご注意ください。
（6） 自立運転中での売電はできませんので、停電が復旧した場合は、手順に沿って自立運転モードから連系運転モードに切り替えてください。

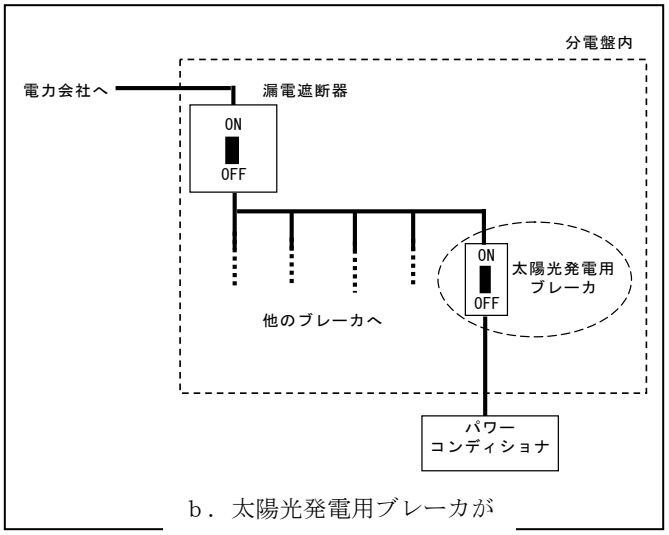
□ 連系運転モードから自立運転モードへの切替方法（停電時）

自立運転とは、停電などにより電力会社から電力が供給停止された場合、太陽光に応じて太陽電池が発電した電力を停電用コンセントに供給します。最大で 1.5kVA(AC100V 最大 15A)です。

① 太陽光発電用ブレーカを ‘オフ’ にしてください。



a．太陽光発電用ブレーカが
分電盤外部にある場合

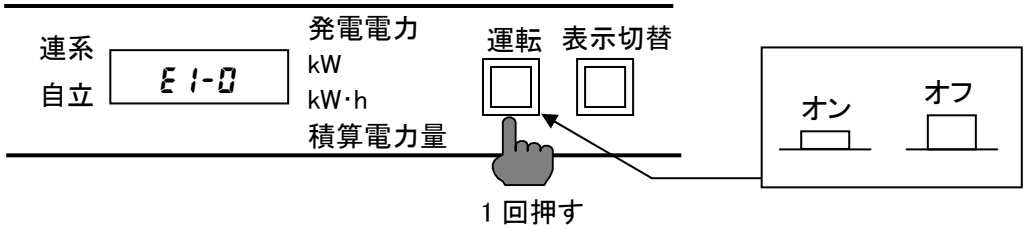


b．太陽光発電用ブレーカが
分電盤内部にある場合

②運転スイッチを ‘オフ’ にしてください。

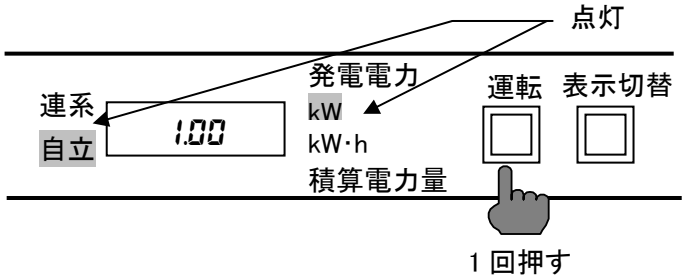
表示部に「E 1-0」が表示されていれば、太陽電池は発電しています。

太陽電池が発電していないと、すべての表示は消灯しています。



③運転スイッチを ‘オン’ にしてください。

数秒後に自立ランプが点灯し、自立運転を開始します。



④自立運転を停止させる場合は、運転スイッチを ‘オフ’ にしてください。

●自立運転モード時、表示部には停電用コンセントに接続した機器の消費電力を表示します。
停電用コンセントに何も接続していない場合、表示部には「0.00～0.04」を表示します。

●翌朝に停電が回復していない場合、運転スイッチを ‘オン’ から ‘オフ’ にし、再度 ‘オン’ にすると自立運転を開始します。

重 要

(1)夕方、夜間、早朝などの太陽電池が発電していないときは、自立運転モードで運転できません。

(2)停電用コンセントに使用したい機器を接続してください。

また、接続する機器の最大電力は 1.5kVA 以内(AC100V 最大 15A 以内)になるようにしてください。

(3)掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働きパワーコンディショナが停止することがあります。

●保護機能が働き停止した場合

① 運転スイッチを‘オフ’にしてください。

② 停電用コンセントに接続している電気製品を減らしてください。

③ 運転スイッチを再度‘オン’にしてください。

(4)夜間、または天候による変化で太陽電池の発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。

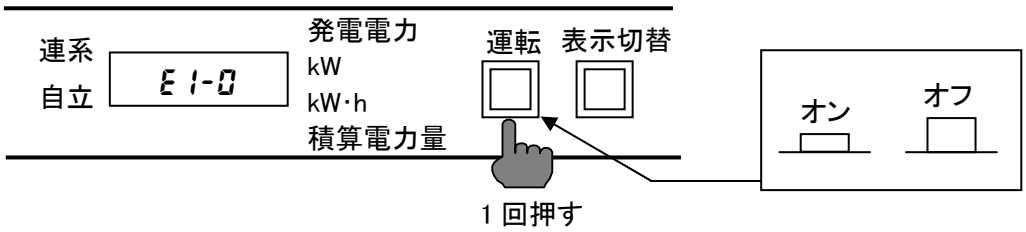
自立運転を再開させる場合は、運転スイッチを‘オン’から‘オフ’にし、再度‘オン’にしてください。

□ 自立運転モードから連系運転モードへの切替方法(復電時)

①運転スイッチを‘オフ’にしてください。

表示部に「E 1-0」が表示されていれば、太陽電池は発電しています。

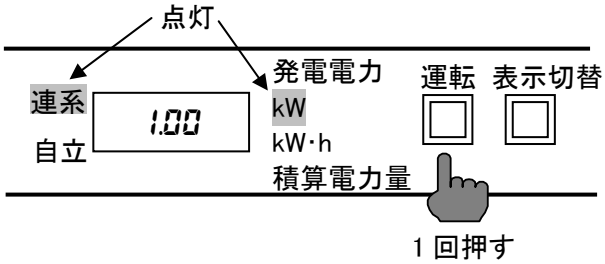
太陽電池が発電していないと、すべての表示は消灯しています。



②太陽光発電用ブレーカを‘オン’にしてください。

③運転スイッチを‘オン’にしてください。

カウントダウン終了後に連系ランプが点灯し、連系運転を開始します。



ＫＰ４０Ｆ　停電時の使い方（自立運転モードの使い方）

使用上の注意

（１）　自立運転を行う場合は、パワーコンディショナの自立コンセントに使用目的の電気製品のプラグをつなぎかえて下さい。

（２）　パワーコンディショナの自立コンセントに接続できる最大容量は１．５ｋＶＡ以内です。
AC100V で最大 15A（1.5kVA）未満の機器を接続して使用してください。

（３）　自立コンセントの出力容量は、太陽電池の発電状況（天候）により変動します。
よって、自立コンセントには停電すると困るような機器（パソコン、医療機器等）は接続しないでください。

（４）　モータ内蔵機器(掃除機、冷蔵庫等)を接続すると、急激な電流が流れるため、保護機能が働きパワーコンディショナが停止することがあります。

（５）　太陽が昇っている間でしか発電しませんので、停電が復旧した場合は、電気製品のプラグをパワーコンディショナの自立コンセントから家庭用コンセントにつなぎかえてください。
特に電気冷蔵庫などの使用は、長時間放置されると中の食品に問題が出る可能性があるのでご注意下さい。

（６）　自立運転中での売電はできません。

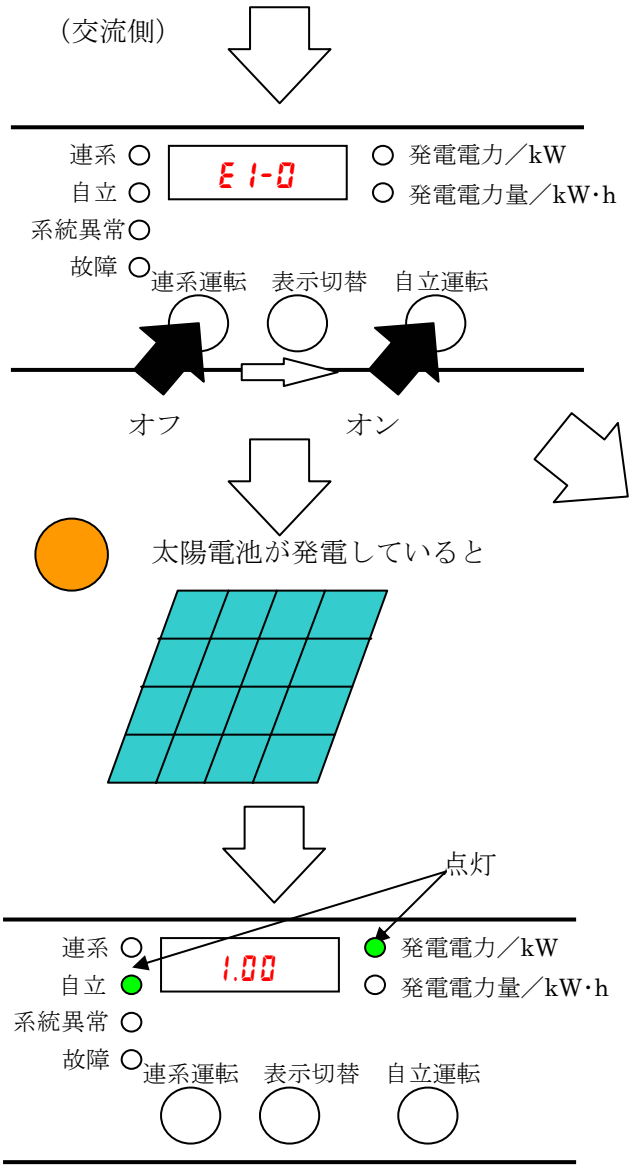
□ 連系運転モードから自立運転モードへの切替方法

パワーコンディショナは、停電などにより電力会社から電力が供給されなくなっても、太陽電池が発電する電力を使用することができます。ここでは、その方法について説明します。

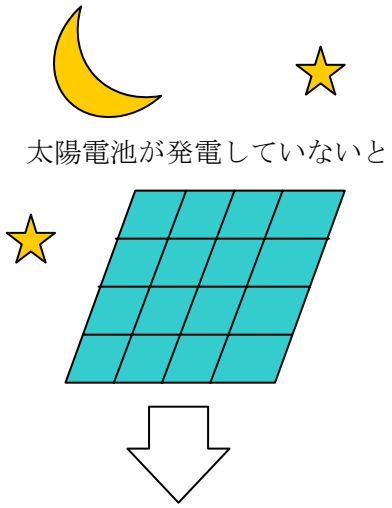
⚠ 注意

必ずＰＶ分岐ブレーカを OFF にした状態で以降の操作を行ってください。
コンディショナが故障する恐れがあります。

・太陽光発電用ブレーカを「OFF」にして下さい。
（交流側）



・停電時、PV 表示部に「E 1-0」が表示されていれば、太陽電池は発電しています。
・連系運転スイッチをオフにしてください。
・自立運転スイッチをオンしてください。



太陽電池が発電するまで、停止します。

自立運転表示が点灯し、運転を開始します。
停電用コンセント　AC100V／15A　に使用したい機器を接続してください。

●接続する機器の電力が合計 AC100V 15A 以内になるようにしてください。
●発電量は天候により変化します。接続する機器の消費電力が発電量より大きいと機器が停止します。また、掃除機など電流が急激に流れる機器をつないだとき保護機能が働き停止することがあります。

□自立運転モードから連系運転モードへの切替方法

●電力会社からの電力が復電していることを確認します
●パワーコンディショナの自立運転スイッチをＯＦＦします
●ＰＶ分岐ブレーカをＯＮします
●パワーコンディショナの連系運転スイッチをＯＮします
●パワーコンディショナが系統連系運転を開始します

正しくお使いいただくために

自立運転スイッチをＯＮ状態にしていると、自立運転モードを継続しますのでご注意ください。
連系運転スイッチと自立運転スイッチとを同時にＯＮしないでください。
どちらか一方がＯＮでないと、パワーコンディショナから出力できません。

KP30K2/KP40K2/KP55K2

停電時の使い方（自立運転モードの使い方）

自立運転は、非常時の運転モードです。停電などで電力会社からの電力供給が停止したときに、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセント（本体側面および壁面）から使用することができます。自立運転時は、電力会社に売電されず、停電用コンセントに接続した電気製品に太陽光により発電された電力を供給します。

安全上のご注意

誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害を、次のように区分して説明しています。

⚠ 警告	正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがあります。
⚠ 注意	正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、ときに軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害※を受けるおそれがあります。

※ 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

●一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告	●一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示

以下の項目は、パワーコンディショナを安全に使用していただくための重大な内容を記載しています。よくお読みいただき、必ずお守りください。

⚠ 警告

自立運転する前に必ず太陽光発電用ブレーカを「オフ」にしてください。
（太陽光発電用ブレーカは分電盤の中または分電盤の付近にあります）
万一の場合、感電による傷害や火災が起こるおそれがあります。

次の機器を停電用コンセント（自立運転出力）に接続しないでください。
・すべての医療機器
・灯油やガスを用いる冷暖房機器
・パソコン、ワープロなどの情報機器
・その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器
停電用コンセント（自立運転出力）の電圧出力が停止した場合、人身傷害や接続した機器の機能障害がまれに起こるおそれがあります。
停電用コンセント（自立運転出力）から供給する電圧は、太陽の光が弱くなると必ず低下します。
接続に際しては、突然停止しても安全性に問題がない機器であることを確認してください。

停電用コンセント（自立運転出力）にコンセントプラグ以外を挿入しないでください。
感電するおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

停電用コンセント（自立運転出力）を他の家庭内のコンセントと接続しないでください。
万一の場合、機能障害や停電が起こるおそれがあります。

停電用コンセント（自立運転出力）を他のパワーコンディショナの停電用コンセント（自立運転出力）と接続しないでください。
感電・発煙・発火のおそれがあります。

停電用コンセント（自立運転出力）に機器を接続したままにしないでください。
火災や感電、あるいはけがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

ぬれた手で停電用コンセント（自立運転出力）を抜き差ししないでください。
感電による障害がまれに起こるおそれがあります。

■ 使用上の注意

- 停電用コンセント（自立運転出力）には、AC100V で最大 15A（合計で 1500VA）以下の機器を接続して使用してください。

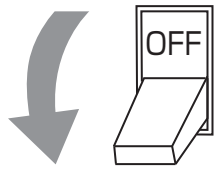
停電時の操作（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、表示部に“E 1-0”が表示されます。
“E 1-0”表示時に、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセント（本体側面および壁面）から使用することができます。

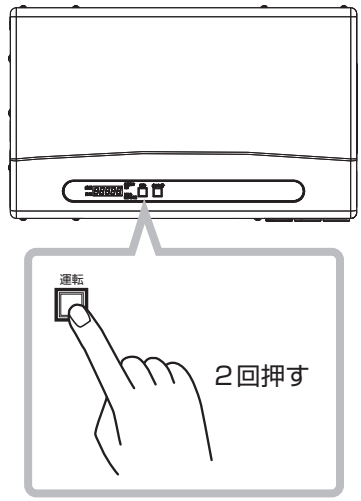
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。

1 太陽光発電用ブレーカを「オフ」にする

- 太陽光発電用ブレーカは分電盤の中または分電盤の付近にあります。



2 運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にする



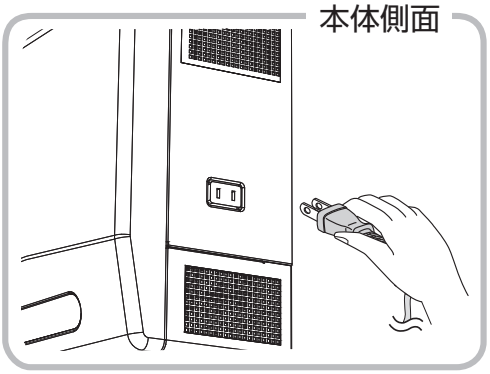
3 自立ランプと発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する

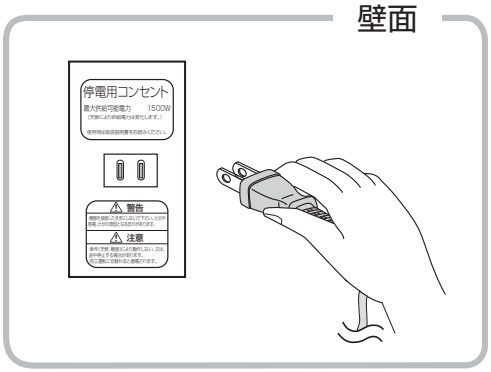
- 表示部には停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続した機器の合計消費電力が表示されます。（何も接続していない場合は、“0.00”が表示されます）

停電時の操作（自立運転への切り替え）（つづき）

4 停電用コンセント（本体側面および壁面）に、使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。（⇨ 1）
- 接続する機器の合計消費電力は、1500VA 以下（AC 100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。





■ 自立運転が停止してしまったら

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。自立運転を再開させる場合は、太陽電池が発電を開始してから、運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にしてください。

- 表示部に“E 1-0”が表示されていたら、太陽電池は発電を開始しています。
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

お知らせ

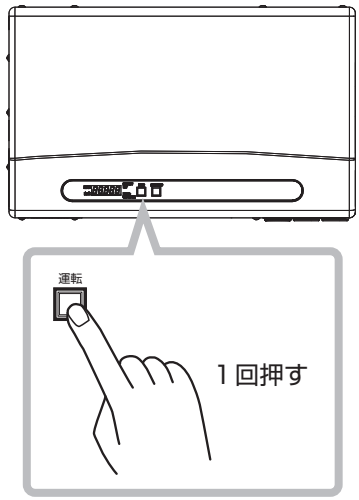
- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを「オフ」にしてください。再度「オン」にすると、自立運転を再開します。
- 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。
  保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。
  1 運転スイッチを「オフ」にする
  2 停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器を減らす
  3 運転スイッチを再度「オン」にする

復電時の操作（自立運転から連系運転への切り替え）

停電時に自立運転に切り替えた場合、復電後は連系運転に切り替える必要があります。
- 連系運転に切り替える際、停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器は外してください。
- 夜間に復電した場合は、手順２のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。

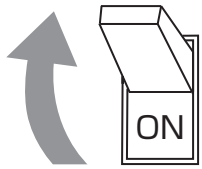
1 運転スイッチを「オフ」にする

- 表示部に“E 1-0”が表示されます。



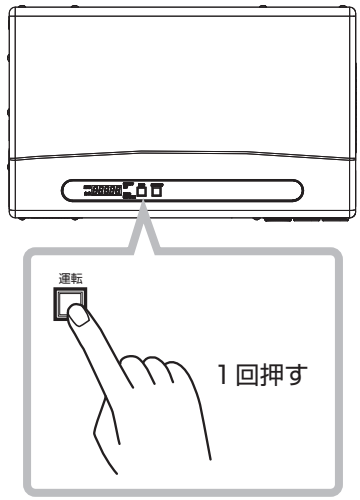
2 太陽光発電用ブレーカを「オン」にする

- 表示部にカウントダウンが表示、または“HLd”が点滅します。



3 運転スイッチを「オン」にする

- カウントダウンが表示されている場合は、カウントダウン終了後に連系運転を開始します。



4 連系ランプと発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する

- 表示部の中央に“.”（ドット）が点灯した後に、現在の発電電力が表示されます。

（2.2kW 発電時のイラストです）

© OMRON Corporation 2014 All Rights Reserved

KP48R/KP59R

停電時の使い方（自立運転モードの使い方）

自立運転は、非常時の運転モードです。停電などで電力会社からの電力供給が停止したときに、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。自立運転時は、電力会社に売電されず、停電用コンセントに接続した電気製品に太陽光により発電された電力を供給します。

安全上のご注意

誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害を、次のように区分して説明しています。

⚠ 警告	正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがあります。
⚠ 注意	正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、ときに軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害※を受けるおそれがあります。

※　物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

●一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告	●一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示

以下の項目は、パワーコンディショナを安全に使用していただくための重大な内容を記載しています。よくお読みいただき、必ずお守りください。

⚠ 警告

自立運転する前に必ず太陽光発電用ブレーカを「オフ」にしてください。
（太陽光発電用ブレーカは分電盤の中または分電盤の付近にあります）
万一の場合、感電による傷害や火災が起こるおそれがあります。

次の機器を停電用コンセント（自立運転出力）に接続しないでください。
・すべての医療機器
・灯油やガスを用いる冷暖房機器
・パソコン、ワープロなどの情報機器
・その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器
停電用コンセント（自立運転出力）の電圧出力が停止した場合、人身傷害や接続した機器の機能障害がまれに起こるおそれがあります。
停電用コンセント（自立運転出力）から供給する電圧は、太陽の光が弱くなると必ず低下します。
接続に際しては、突然停止しても安全性に問題がない機器であることを確認してください。

停電用コンセント（自立運転出力）にコンセントプラグ以外を挿入しないでください。
感電するおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

停電用コンセント（自立運転出力）を他の家庭内のコンセントと接続しないでください。
万一の場合、機能障害や停電が起こるおそれがあります。

停電用コンセント（自立運転出力）を他のパワーコンディショナの停電用コンセント（自立運転出力）と接続しないでください。
感電・発煙・発火のおそれがあります。

停電用コンセント（自立運転出力）に機器を接続したままにしないでください。
火災や感電、あるいはけがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

ぬれた手で停電用コンセント（自立運転出力）を抜き差ししないでください。
感電による障害がまれに起こるおそれがあります。

■ 使用上の注意

- 停電用コンセント（自立運転出力）には、AC100V で最大 15A（合計で 1500VA）以下の機器を接続して使用してください。

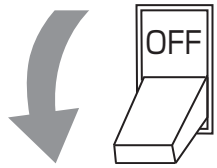
停電時の操作（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、異常ランプが２回点滅を繰り返します。その際、自立運転に切り替えると、太陽光発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。

- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべてのランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。

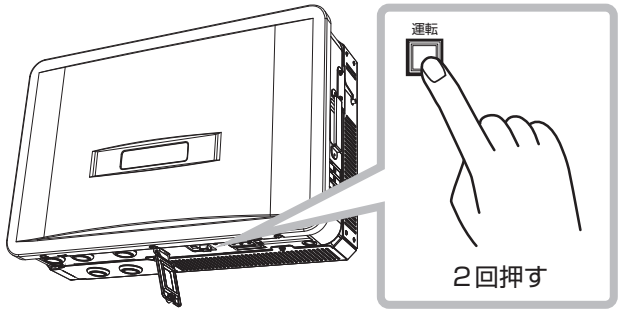
1 太陽光発電用ブレーカを「オフ」にする

- 太陽光発電用ブレーカは分電盤の中または分電盤の付近にあります。



2 スイッチカバーを開け、運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にする

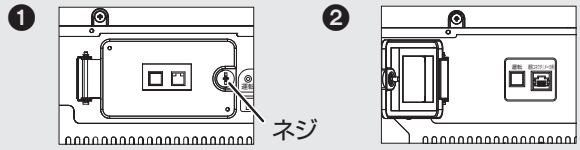
- スイッチ操作時以外は必ずスイッチカバーを閉めた状態にしてください。



スイッチカバーの開け方

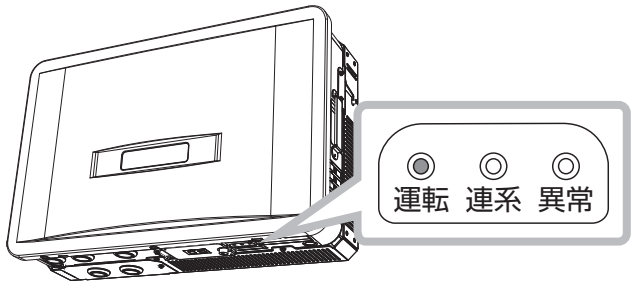
パワーコンディショナ底面のネジを回して、スイッチカバーを開けます。
ねじが固い場合は、コインまたはドライバーを使用してください。

- スイッチカバーを閉めるときは、異物などを挟まないよう注意し、ネジを垂直に締めてください。



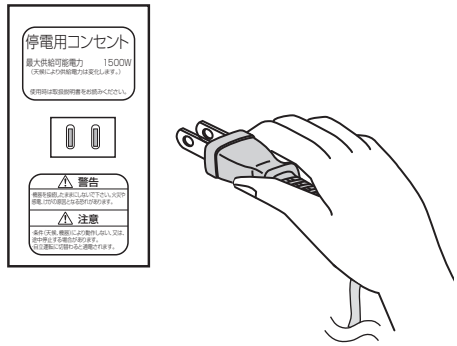
3 運転ランプだけが点灯することを確認する

- 自立運転を開始するまで、運転ランプが点滅します。



4 停電用コンセントに、使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。(⇨ 1)
- 接続する機器の合計消費電力は、1500VA 以下（AC 100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。



停電時の操作（自立運転への切り替え）（つづき）

■ 自立運転が停止してしまったら

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。自立運転を再開させる場合は、太陽電池が発電を開始してから、運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にしてください。

- 異常ランプが２回点滅を繰り返していたら、太陽電池は発電を開始しています。
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべてのランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

お知らせ

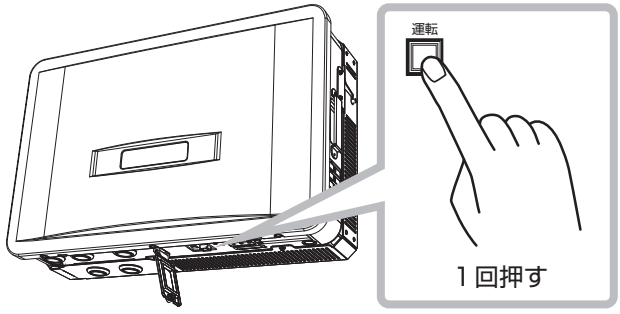
- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを「オフ」にしてください。再度「オン」にすると、自立運転を再開します。
- 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。
  保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。
  1 運転スイッチを「オフ」にする
  2 停電用コンセントに接続している機器を減らす
  3 運転スイッチを再度「オン」にする

復電時の操作（自立運転から連系運転への切り替え）

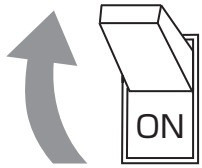
停電時に自立運転に切り替えた場合、復電後は連系運転に切り替える必要があります。
- 連系運転に切り替える際、停電用コンセントに接続している機器は外してください。
- 夜間に復電した場合は、手順２のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。

1 スイッチカバーを開け、運転スイッチを「オフ」にする (⇨ 3)

- 運転ランプが点滅します。
- スイッチ操作時以外は必ずスイッチカバーを閉めた状態にしてください。

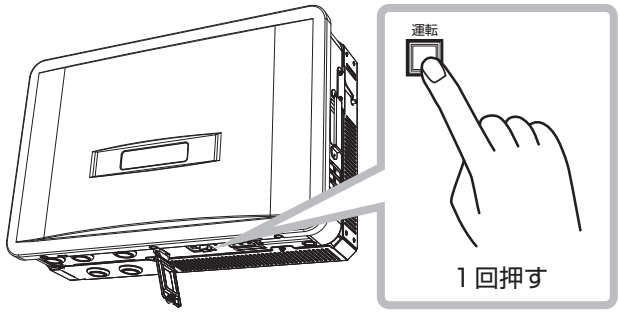


2 太陽光発電用ブレーカを「オン」にする



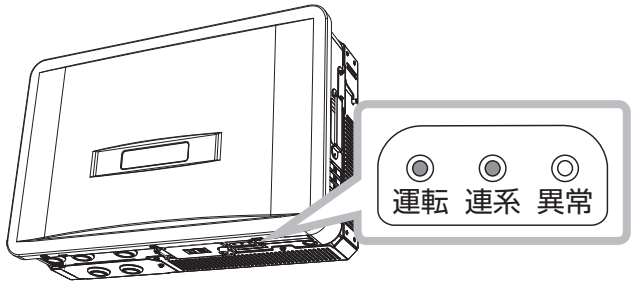
3 スイッチカバーを開け、運転スイッチを「オン」にする (⇨ 3)

- スイッチ操作時以外は必ずスイッチカバーを閉めた状態にしてください。



4 運転ランプと連系ランプが点灯することを確認する

- 連系運転を開始するまで、運転ランプが点滅します。



操作ユニットからパワーコンディショナを操作するには

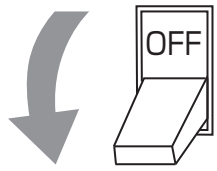
●停電時の操作（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、表示部に“E 1-0”が表示されます。
“E 1-0”表示時に自立運転に切り替えると、太陽光発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。

- 夜間など太陽電池が発電していないときは、操作ユニットのすべての表示が消灯し、自立運転への切り替えはできません。

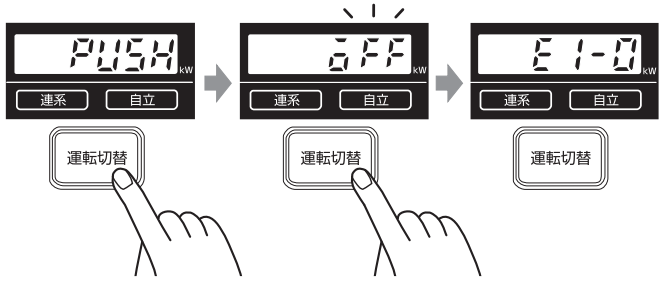
1 太陽光発電用ブレーカを「オフ」にする

- 太陽光発電用ブレーカは分電盤の中または分電盤の付近にあります。



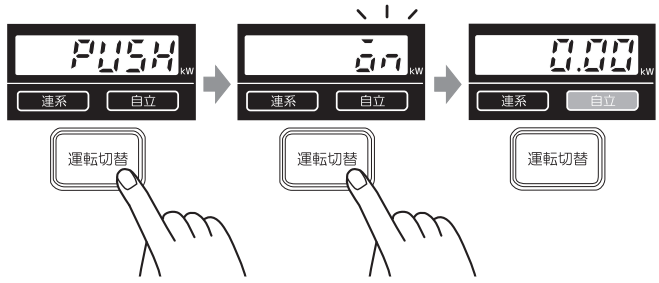
2 運転切替スイッチを“oFF”が点滅するまで３秒以上長押しする

- スイッチを押している間、“PUSH”が表示されます。
- “oFF”点滅後、再度“E 1-0”が表示されます。



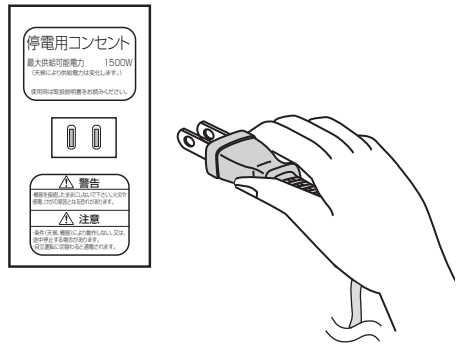
3 運転切替スイッチを“on”が点滅するまで３秒以上長押しする

- スイッチを押している間、“PUSH”が表示されます。
- 自立運転を開始すると、自立ランプが点灯し、停電用コンセントに接続した機器の消費電力が表示されます。（何も接続していない場合は“0.00”が表示されます）
- “----”が表示される場合は、数分後に自立運転を開始します。



4 停電用コンセントに、使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。（⇨ 1）
- 接続する機器の合計消費電力は、1500VA 以下（AC 100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。



操作ユニットからパワーコンディショナを操作するには（つづき）

■ 自立運転が停止してしまったら

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。自立運転を再開させる場合は、“E 1-0”が表示されてから、「停電時の操作（自立運転への切り替え）」(⇨ 3) の２～３の手順を行ってください。

- 夜間など太陽電池が発電していないときは、操作ユニットのすべての表示が消灯し、自立運転を再開させることはできません。

お知らせ

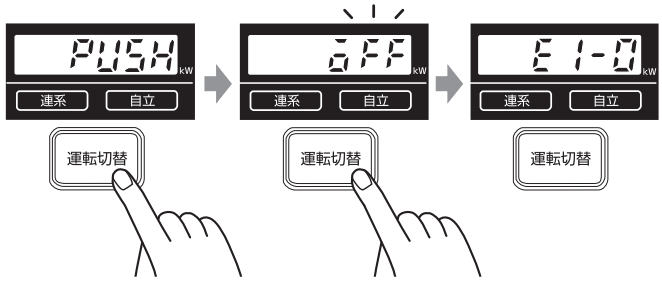
- 自立運転を停止させるには、運転切替スイッチを“oFF”が点滅するまで３秒以上長押ししてください。再度運転切替スイッチを“on”が点滅するまで３秒以上長押しすると、自立運転を再開します。
- 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。
  保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。
  1 運転切替スイッチを“oFF”が点滅するまで３秒以上長押しする
  2 停電用コンセントに接続している機器を減らす
  3 運転切替スイッチを“on”が点滅するまで３秒以上長押しする

●復電時の操作（自立運転から連系運転への切り替え）

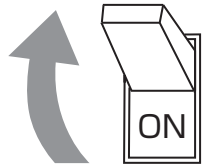
停電時に自立運転に切り替えた場合、復電後は連系運転に切り替える必要があります。
- 連系運転に切り替える際、停電用コンセントに接続している機器は外してください。
- 夜間に復電した場合は、手順２のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。

1 運転切替スイッチを“oFF”が点滅するまで３秒以上長押しする

- スイッチを押している間、“PUSH”が表示されます。
- “oFF”点滅後、“E 1-0”が表示されます。



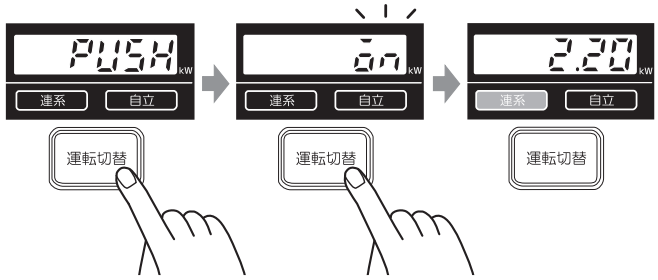
2 太陽光発電用ブレーカを「オン」にする



3 運転切替スイッチを“on”が点滅するまで３秒以上長押しする

- スイッチを押している間、“PUSH”が表示されます。
- 連系運転を開始すると、連系ランプが点灯し、発電電力が表示されます。
- “----”が表示される場合は、数分後に連系運転を開始します。

（2.2kW 発電時のイラストです）



© OMRON Corporation 2014 All Rights Reserved

KP44M/KP55M

停電時の使い方（自立運転モードの使い方）

自立運転は、非常時の運転モードです。停電などで電力会社からの電力供給が停止したときに、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。自立運転時は、電力会社に売電されず、停電用コンセントに接続した電気製品に太陽光により発電された電力を供給します。

安全上のご注意

誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害を、次のように区分して説明しています。

⚠ 警告	正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがあります。
⚠ 注意	正しい取り扱いをしなければ、この危険のために、ときに軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害※を受けるおそれがあります。

※ 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

●一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告	●一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示

以下の項目は、パワーコンディショナを安全に使用していただくための重大な内容を記載しています。よくお読みいただき、必ずお守りください。

⚠ 警告

自立運転する前に必ず太陽光発電用ブレーカを「オフ」にしてください。
（太陽光発電用ブレーカは分電盤の中または分電盤の付近にあります）
万一の場合、感電による傷害や火災が起こるおそれがあります。

次の機器を停電用コンセント（自立運転出力）に接続しないでください。
・すべての医療機器
・灯油やガスを用いる冷暖房機器
・パソコン、ワープロなどの情報機器
・その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器
停電用コンセント（自立運転出力）の電圧出力が停止した場合、人身傷害や接続した機器の機能障害がまれに起こるおそれがあります。
停電用コンセント（自立運転出力）から供給する電圧は、太陽の光が弱くなると必ず低下します。
接続に際しては、突然停止しても安全性に問題がない機器であることを確認してください。

停電用コンセント（自立運転出力）にコンセントプラグ以外を挿入しないでください。
感電するおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

停電用コンセント（自立運転出力）を他の家庭内のコンセントと接続しないでください。
万一の場合、機能障害や停電が起こるおそれがあります。

停電用コンセント（自立運転出力）を他のパワーコンディショナの停電用コンセント（自立運転出力）と接続しないでください。
感電・発煙・発火のおそれがあります。

停電用コンセント（自立運転出力）に機器を接続したままにしないでください。
火災や感電、あるいはけがや周囲の破損の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

ぬれた手で停電用コンセント（自立運転出力）を抜き差ししないでください。
感電による障害がまれに起こるおそれがあります。

■ 使用上の注意

- 停電用コンセント（自立運転出力）には、AC100V で最大 15A（合計で 1500VA）以下の機器を接続して使用してください。

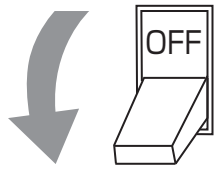
停電時の操作（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、表示部に“E 1-0”が表示されます。“E 1-0”表示時に、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。

- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。

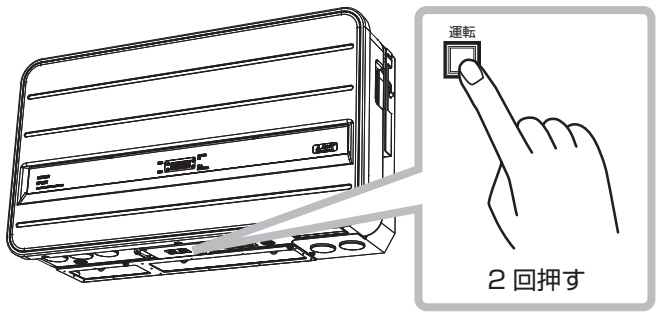
1 太陽光発電用ブレーカを「オフ」にする

- 太陽光発電用ブレーカは分電盤の中または分電盤の付近にあります。



2 スイッチカバーを開け、運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にする

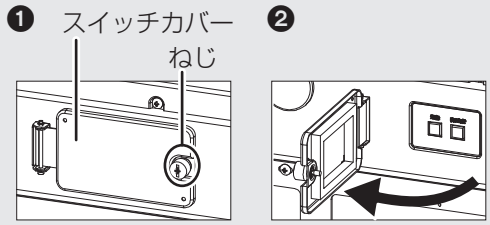
- スイッチ操作時以外は必ずスイッチカバーを閉めた状態にしてください。



スイッチカバーの開け方

パワーコンディショナ底面のねじを回して、スイッチカバーを開けます。
ねじが固い場合は、コインまたはドライバーを使用してください。

- スイッチカバーを閉めるときは、異物などを挟まないよう注意し、ねじを垂直に締めてください。

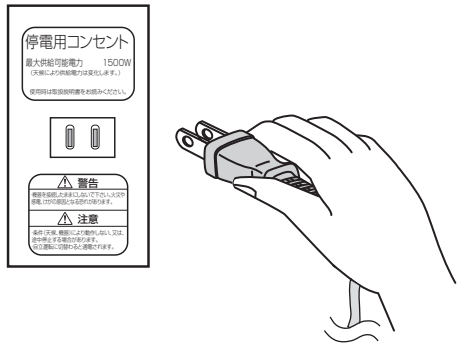


3 自立ランプと発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する

- 表示部には停電用コンセントに接続した機器の合計消費電力が表示されます。（何も接続していない場合は、“0.00”が表示されます）

4 停電用コンセントに、使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。（⇨ 1）
- 接続する機器の合計消費電力は、1500VA 以下（AC 100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。



停電時の操作（自立運転への切り替え）（つづき）

■ 自立運転が停止してしまったら

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。自立運転を再開させる場合は、太陽電池が発電を開始してから、運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にしてください。

- 表示部に“E 1-0”が表示されていたら、太陽電池は発電を開始しています。
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

お知らせ

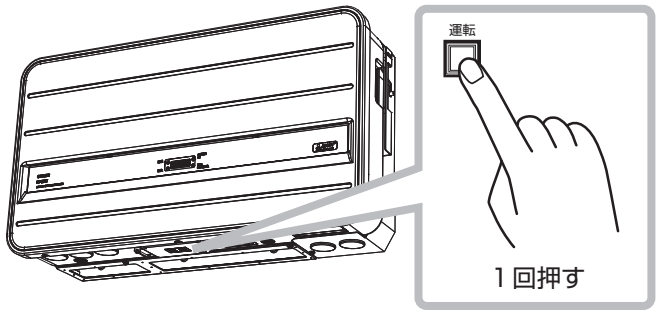
- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを「オフ」にしてください。再度「オン」にすると、自立運転を再開します。
- 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。
  保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。
  1 運転スイッチを「オフ」にする
  2 停電用コンセントに接続している機器を減らす
  3 運転スイッチを再度「オン」にする

復電時の操作（自立運転から連系運転への切り替え）

停電時に自立運転に切り替えた場合、復電後は連系運転に切り替える必要があります。
- 連系運転に切り替える際、停電用コンセントに接続している機器は外してください。
- 夜間に復電した場合は、手順２のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。

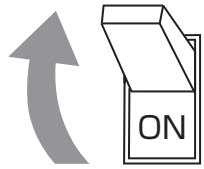
1 スイッチカバーを開け、運転スイッチを「オフ」にする (⇨ 3)

- 表示部に“E1-0”が表示されます。
- スイッチ操作時以外は必ずスイッチカバーを閉めた状態にしてください。



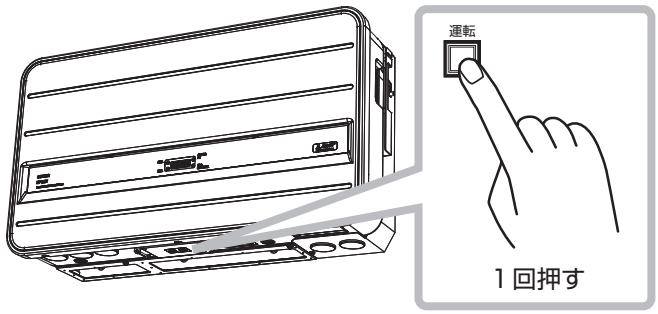
2 太陽光発電用ブレーカを「オン」にする

- 表示部にカウントダウンが表示、または“HLd”が点滅します。



3 スイッチカバーを開け、運転スイッチを「オン」にする (⇨ 3)

- カウントダウンが表示されている場合は、カウントダウン終了後に連系運転を開始します。
- スイッチ操作時以外は必ずスイッチカバーを閉めた状態にしてください。



4 連系ランプと発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する

- 表示部の中央に“.”（ドット）が点灯した後に、現在の発電電力が表示されます。

（2.2kW 発電時のイラストです）

操作ユニットからパワーコンディショナを操作するには

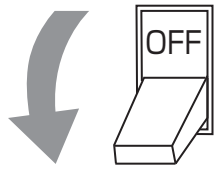
●停電時の操作（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、表示部に“E 1-0”が表示されます。“E 1-0”表示時に自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。

- 夜間など太陽電池が発電していないときは、操作ユニットのすべての表示が消灯し、自立運転への切り替えはできません。

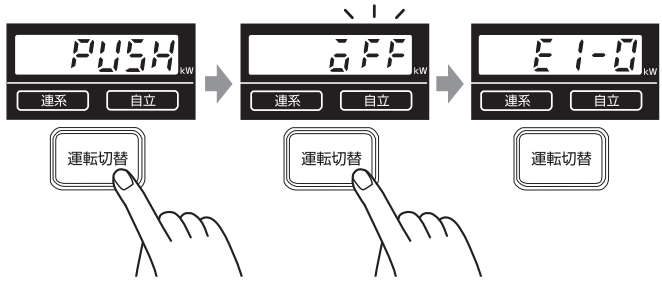
1 太陽光発電用ブレーカを「オフ」にする

- 太陽光発電用ブレーカは分電盤の中または分電盤の付近にあります。



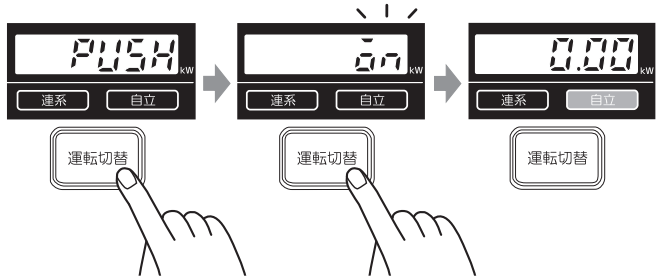
2 運転切替スイッチを“oFF”が点滅するまで３秒以上長押しする

- スイッチを押している間、“PUSH”が表示されます。
- “oFF”点滅後、再度“E 1-0”が表示されます。



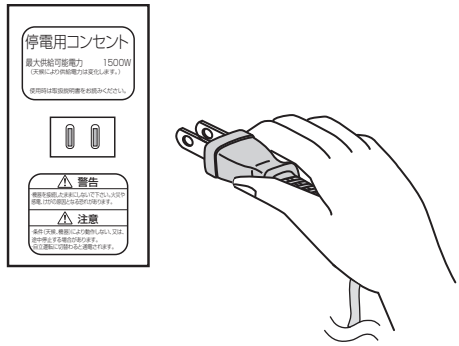
3 運転切替スイッチを“on”が点滅するまで３秒以上長押しする

- スイッチを押している間、“PUSH”が表示されます。
- 自立運転を開始すると、自立ランプが点灯し、停電用コンセントに接続した機器の消費電力が表示されます。（何も接続していない場合は“0.00”が表示されます）
- “----”が表示される場合は、数分後に自立運転を開始します。



4 停電用コンセントに、使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。（⇨ 1）
- 接続する機器の合計消費電力は、1500VA 以下（AC 100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。



■ 自立運転が停止してしまったら

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。自立運転を再開させる場合は、“E 1-0”が表示されてから、「停電時の操作（自立運転への切り替え）」（⇨ 上記）の２～３の手順を行ってください。

- 夜間など太陽電池が発電していないときは、操作ユニットのすべての表示が消灯し、自立運転を再開させることはできません。

操作ユニットからパワーコンディショナを操作するには（つづき）

お知らせ

- 自立運転を停止させるには、運転切替スイッチを“oFF”が点滅するまで３秒以上長押ししてください。再度運転切替スイッチを“on”が点滅するまで３秒以上長押しすると、自立運転を再開します。
- 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。
  保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。
  1 運転切替スイッチを“oFF”が点滅するまで３秒以上長押しする
  2 停電用コンセントに接続している機器を減らす
  3 運転切替スイッチを“on”が点滅するまで３秒以上長押しする

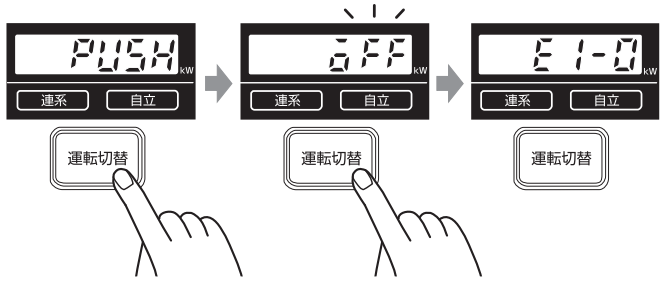
●復電時の操作（自立運転から連系運転への切り替え）

停電時に自立運転に切り替えた場合、復電後は連系運転に切り替える必要があります。

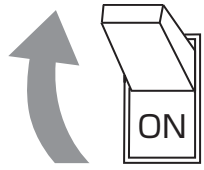
- 連系運転に切り替える際、停電用コンセントに接続している機器は外してください。
- 夜間に復電した場合は、手順２のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。

1 運転切替スイッチを“oFF”が点滅するまで３秒以上長押しする

- スイッチを押している間、“PUSH”が表示されます。
- “oFF”点滅後、“E1-0”が表示されます。



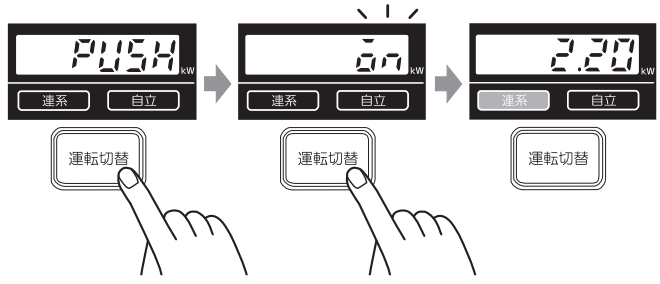
2 太陽光発電用ブレーカを「オン」にする



3 運転切替スイッチを“on”が点滅するまで３秒以上長押しする

- スイッチを押している間、“PUSH”が表示されます。
- 連系運転を開始すると、連系ランプが点灯し、発電電力が表示されます。
- “----”が表示される場合は、数分後に連系運転を開始します。

（2.2kW 発電時のイラストです）



© OMRON Corporation 2014 All Rights Reserved

KP40H　停電時の使い方（自立運転モードの使い方）

安全上のご注意

●安全に使用していただくための表示と意味について

この取扱説明書では、パワーコンディショナを安全に使用していただくために、注意事項を次のような表示と記号で示しています。
ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。必ずお守りください。
表示と記号は次のとおりです。

⚠ 警告	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至る恐れがあります。

●図記号の説明

	●一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示

⚠ 警告

停電用コンセントから供給する電圧は、太陽の光が弱くなると必ず低下します。
接続に際しては突然停止しても安全性に問題がない機器であることを確認してください。
次の機器を停電用コンセントに接続しないでください。
・すべての医療機器、灯油やガスを用いる冷暖房機器
・パソコン、ワープロなどの情報機器
・その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器
停電用コンセントの電圧出力が停止し、人身傷害や接続した機器に機能障害が稀に起こる恐れがあります。

自立運転する前に必ず太陽光発電ブレーカーを OFF してください。
万が一の場合、感電による障害や火災が起こる恐れがあります。

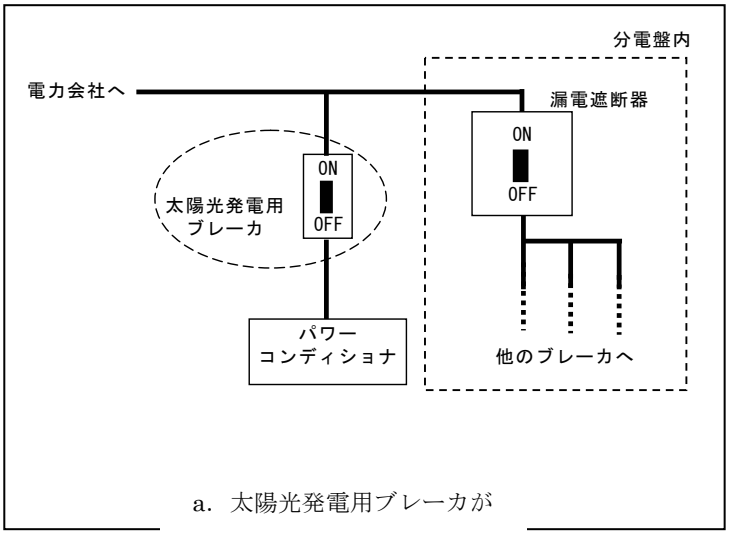
使用上の注意

（1）夕方、夜間、早朝などの太陽電池が発電していないときは、自立運転モードで運転できません。
（2）停電中でパワーコンディショナ発電を行う場合は、パワーコンディショナの停電用コンセント（以下、自立コンセント)に使用目的の電気製品のプラグをつなぎかえてください。
（3）パワーコンディショナの自立コンセントに接続できる容量は天候によって変化します。
停止する場合は、自立コンセントに接続した電気製品を減らしてください。
（最大 1.5kVA：AC100V，15A 未満）
（4）モータ内蔵機器(掃除機、冷蔵庫等)を接続すると、急激な電流が流れるため、保護機能が働きパワーコンディショナが停止することがあります。
（5）太陽が昇っている間でしか発電しませんので、停電が復旧した場合は、電気製品のプラグをパワーコンディショナ自立コンセントから家庭用コンセントにつなぎかえて、手順に沿って自立運転モードから連系運転モードに切り替えてください。
特に電気冷蔵庫などの使用は、長時間放置されると中の食品に問題が出る可能性があるのでご注意ください。
（6）自立運転中での売電はできませんので、停電が復旧した場合は、手順に沿って自立運転モードから連系運転モードに切り替えてください。

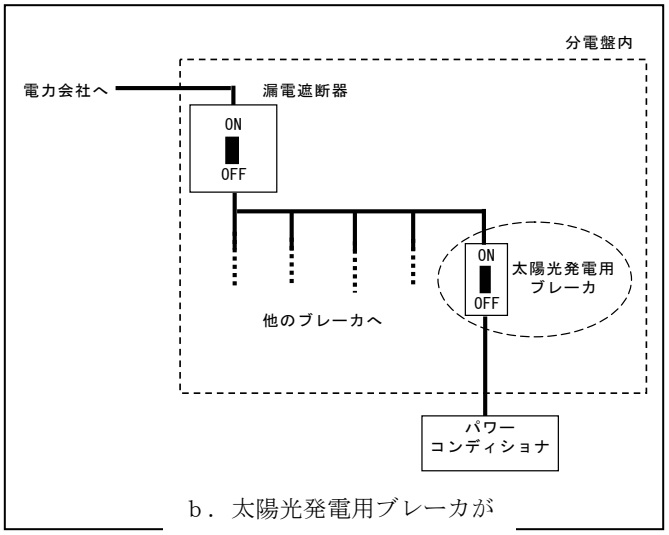
□ 連系運転モードから自立運転モードへの切替方法（停電時）

自立運転とは、停電などにより電力会社から電力が供給停止された場合、太陽光に応じて太陽電池が発電した電力を停電用コンセントに供給します。最大で 1.5kVA(AC100V 最大 15A)です。

① 太陽光発電用ブレーカを ‘オフ’ にしてください。



a．太陽光発電用ブレーカが
分電盤外部にある場合

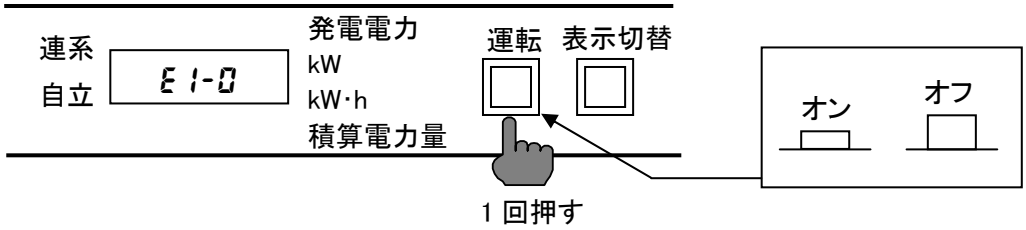


b．太陽光発電用ブレーカが
分電盤内部にある場合

②運転スイッチを ‘オフ’ にしてください。

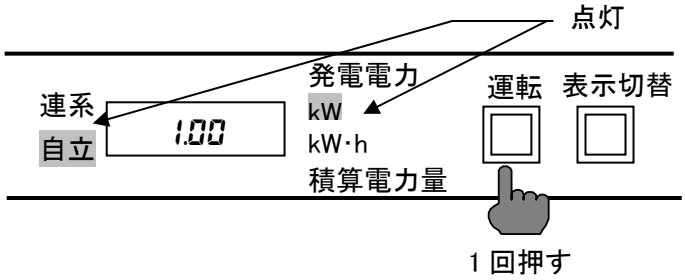
表示部に「E 1-0」が表示されていれば、太陽電池は発電しています。

太陽電池が発電していないと、すべての表示は消灯しています。



③運転スイッチを ‘オン’ にしてください。

数秒後に自立ランプが点灯し、自立運転を開始します。



④自立運転を停止させる場合は、運転スイッチを ‘オフ’ にしてください。

●自立運転モード時、表示部には停電用コンセントに接続した機器の消費電力を表示します。
停電用コンセントに何も接続していない場合、表示部には「0.00～0.04」を表示します。

●翌朝に停電が回復していない場合、運転スイッチを ‘オン’ から ‘オフ’ にし、再度 ‘オン’ にすると自立運転を開始します。

重 要

(1)夕方、夜間、早朝などの太陽電池が発電していないときは、自立運転モードで運転できません。

(2)停電用コンセントに使用したい機器を接続してください。

また、接続する機器の最大電力は 1.5kVA 以内(AC100V 最大 15A 以内)になるようにしてください。

(3)掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働きパワーコンディショナが停止することがあります。

●保護機能が働き停止した場合

① 運転スイッチを‘オフ’にしてください。

② 停電用コンセントに接続している電気製品を減らしてください。

③ 運転スイッチを再度‘オン’にしてください。

(4)夜間、または天候による変化で太陽電池の発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。

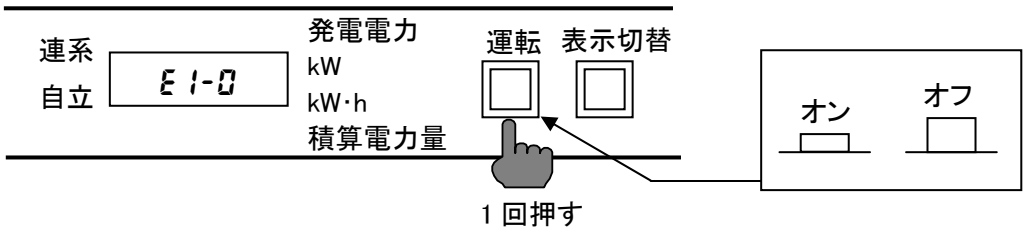
自立運転を再開させる場合は、運転スイッチを‘オン’から‘オフ’にし、再度‘オン’にしてください。

□ 自立運転モードから連系運転モードへの切替方法(復電時)

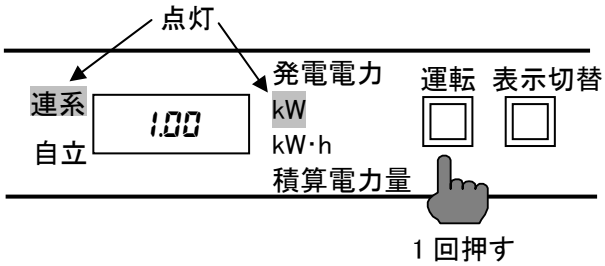
①運転スイッチを‘オフ’にしてください。

表示部に「E 1-0」が表示されていれば、太陽電池は発電しています。

太陽電池が発電していないと、すべての表示は消灯しています。



②太陽光発電用ブレーカを‘オン’にしてください。

③運転スイッチを‘オン’にしてください。

カウントダウン終了後に連系ランプが点灯し、連系運転を開始します。